



第1回「Qの会」 総会・研修会開催

第1回「Qの会」総会・研修会が10月23日に開催されました。

この会には、会員56名、非会員18名・他職種4名、計78名の方が参加されました。

宮武陽子先生の糖尿病看護の現状と、将来を展望し、看護職者としてのCDE（果たす役割・責務について）のお話がありました。

「Qの会」総会が開催され、発足までの経緯報告後、審議が行われ会則・会長・副会長・理事・評議員が決定し、事業計画・予算が立しました。

パネルディスカッションでは、パネラーの糖尿病療養指導士としての体験談の発表後、参加者との活発なディスカッションが行われ、参加者達の糖尿病看護に寄せられた熱い思いを感じました。

参加された方はご覧になったと思いますが、県下の糖尿病専門医の先生方より「会のために、お花をいただきました。」

総会・研修会での アンケート結果

先日の「Qの会」第1回総会・研修会参加者にアンケートを行いました。参加者40名より回答をいただきましたので、その結果についてお知らせします。

総会・研修会参加のきっかけとしては「糖尿病看護に対する自分の知識を高めるため」という人 29名73%、「資格更新に必要な単位取得のため」と答えた人 22名55%でした。

時期については「ちょうどいい」と答えた人 29名73%、時間についても「ちょうどいい」と答えた人 23名80%と多くみられました。場所は「ここのよい」という人 30名75%、「高松駅の近くがよい」という人 5名13%でした。

パネルディスカッションの内容については「とても満足」19名48%、「まあまあ満足」11名28%でした。「パネルディスカッションで聞いた事や学んだ事を現場で活用できると思うか？」という質問には、「十分活用できる」13名33%、「まあまあ活用できる」17名43%でした。

糖尿病看護実践において困っていることや問題になっていることとしては、対応困難事例への「かわり」22名55%、「教育・患者指導方法」21名53%、「患者への動機づけ」16名40%、「チーム医療の実践」15名38%と色々な場面で困っていることがあるようです。

その他「Qの会」の活動についても、他施設との情報交換をした、「症例を使用した介入の仕方を学びたい」等色々なご意見をいただきました。この結果を参考にこれからの「Qの会」の活動を注力に行いたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

皆様、アンケートに御協力ありがとうございました。これからのご意見お知らせください。



第2回研修会決定

今年度第2回目の研修会を2月11日(土)の午後1時30分より約3時間開催します。今回はグループ討議を通じて各施設での糖尿病療養指導の現状と問題点を話し合い、参加者相互の交流の場としたいと考えております。多くの方の参加をお待ちしております。

学会・研修会のご案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

日本糖尿病協会香川県支部療養指導講習会・・・第2群1単位
日時：2006年3月21日(火) 祭日
場所：香川県社会福祉総合センター

講師：宮武陽子先生(看護師)・山岡京子先生(栄養士)・妻鹿久仁子先生(薬剤師)・完戸真知子先生(検査技師)・片岡弘明先生(理学療法士)

第1回九州・沖縄糖尿病看護スキルアップセミナー・・・第1群4単位か第2群2単位
日時：2006年2月5日(日)

場所：九州大学医学部百年講堂(福岡市)
第21回中国・四国新臨床糖尿病セミナー・・・第2群2単位
日時：2006年3月11日(土)～3月12日(日)

場所：広島県 広島国際会議場
アイランドセミナー

日時：2006年3月11日(土)～3月12日(日)
場所：愛媛県 今治国際ホテル

編集後記 総会も終わり本格的にQの会の活動が始まりました。このニュースレターについても色々なご意見ありがとうございました。会員の皆様の中で興味をお持ちの方と一緒に作ってみませんか?ご連絡をお待ちしています。
広報担当 串田久美